

就職氷河期講座 12月生

【No. 1】 次の文章の空欄A～Dに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

はっきりした夢や理想がある場合、将来における理想の達成というよろこびを手に入れるために、現在の欲望をがまんし、苦しいことを引き受ける は強くなる。ボクサーが「世界チャンピオンになりたい」という夢を持っていれば、さまざまな欲望の誘惑を^{しりぞ}け、減量して猛練習をしながら「勝たねばならない」と思うだろうし、「事業を成功させたい」という夢があれば、寝る間も惜しんで「働かねばならない」と考えるはずだ。

こうした当為には理想の自己像に近づくというよろこびがある。強い人間、秀でた人間、優しい人間という理想像があれば、必死で身体を鍛えたり、懸命に勉強したり、多少の無理はしても他人に優しくしたりするものだ。このような場合、「鍛えねばならない」「勉強せねばならない」「他人に優しくせねばならない」という気持ちは、自分から望んだ主体的な であると感じられるため、一定の限界を超えなければ違和感もなく、積極的にその行為を選択できる。

やり遂げるべき困難な問題も将来における満足やよろこびを意識していれば耐えられるし、自分で決めた夢や理想のためだという目的意識は深い納得感を与えてくれる。その根底には、自分の存在価値を確認したいという自我の欲望、自分が何のために存在しているのかを自ら証明し、他の人々に認めてもらいたいという欲望がある。このような欲望のことを、私は「社会的 」を求める欲望と呼んでいる。

「社会的 」は主に社会的 を果たすことで得ることができる。学校やサークル、会社などで役に立つはたらきや優れた仕事をすれば、その集団から一定の評価を得ることができるだろう。スポーツや芸術などで人をよろこばせる場合でも同じことが言える。その行為が複数の他者にとって価値あることと見なされれば、たとえ社会的 とは無縁に見える夢や理想の実現においても、社会的 の欲望は満たされるのである。

一方、こうした夢や理想像への欲望と同じように、愛する人への欲望から生じる当為もまた主体的な に基づく行為となる。仕事で出世して家族に楽をさせたいと思ったとき、家族への愛は「働かねばならない」という当為における

□ A □ となる。恋人が苦しんでいれば、恋人への愛は「助けねばならない」という当為における □ A □ となる。愛を守るためには夢や理想を捨てることさえある。親しい友人との関係においても同じである。それはときとして自己犠牲さえ含むような行為だが、それでも本人にとっては強い納得と充実感がもたらされる点で、自分の満足と無関係とは言えない。

(山竹伸二「『本当の自分』の現象学」による)

	A	B	C	D
1.	根拠	願望	承認	義務
2.	根拠	見解	正義	貢献
3.	動機	意志	承認	役割
4.	動機	意志	正義	義務
5.	動機	願望	正義	役割

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

世界の集落を調べていて知ったのであるが、伝統なる概念は、ナショナリズムに帰属するのではなく、インターナショナリズムに帰属する概念である。

こうした見解が生まれてきたのは、日本的な空間であると信じこんでいるような空間を、アフリカや中米で見出すといった経験を重ねてきたからである。たとえば、イラクの北部の住居には、独立した棟の土壁で陸屋根の客間があるが、そこでは茶の儀式が行われる。この儀式と日本の伝統的な茶の儀式とをくらべれば、もちろん差異はいくらでも挙げることができる。けれども、類似している点も少なくない。主人や客が坐わる位置が決まっていること、つまり座があって空間が場としてとらえられていること、茶をまわして味わうことをはじめとして、いろいろな動作において順序が重んじられていることなどである。しかし、こうした類似点にもまして、言葉ではうまく表現できないが、茶の儀式のおもむき、情感が似ているのである。儀式の席にいて、私には、小さな土壁の一棟が茶室に似て見えてきたのだった。まったく異種の建築であるはずの日乾し煉瓦の壁さえ、日本の素朴な塗り壁とひどく似て見えてくる。イラクの住居の一角を占める客間のような茶室が、かつては日本にもあったのではないだろうか。そんなふうにも思えてきたのだった。

伝統を論じる場合、当然ながら文化の差異が重んじられる。しかし、差異性と同時に、類似性や同一性にも着目すべきであって、もし類似性や同一性に関するネットワークを描くとすれば、世界各地の伝統は孤立点のないネットワークを組むにちがいない。文化が伝播によって形成されるだけでなく、多発的にも形成されることを考えれば、遠く離れた地域の伝統が、ある共有項によって結びつけられることが頻繁に起るであろう。この共有のネットワークこそ、伝統がインターナショナリズムに帰属することを明らかにするだろう。

1. 世界中の集落と日本の文化との間に類似点が多いのは、文化がネットワークによって伝播した後、その国独自の伝統が形成されてきたためである。
2. 日本とアフリカや中米とは文化の差異があるので、特段ネットワークがなくとも自ずとその地域独特の空間が見いだされていく。
3. イラクの住居に見られる茶室は、日本の文化が伝播して形成されたものであり、その中で行われる儀式が類似してくるのは当然である。
4. 日本人は、茶の儀式を日本独自の文化として重んじているため、類似したイラクの茶の儀式との差異性を明らかにしたがる。
5. 各地域の文化は、伝播のみならず多発的に形成され、共有項によって結びつけられることから、伝統がインターナショナリズムに帰属するといえる。

【No. 3】 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

“Ready?” Richard asks Mom. We are practicing even more now. He sits in a chair opposite her. I’m the timekeeper. Mom closes her eyes, and I know that she is lifting a corner of her veil. She nods, and we begin.

Mom says each of us has a veil between ourselves and the rest of the world, like a bride wears on her wedding day, except this kind of veil is invisible. We walk around happily with these invisible veils hanging down over our faces. The world is kind of blurry*, and we like it that way.

But sometimes our veils are pushed away for a few moments, like there’s a wind blowing it from our faces. And when the veil lifts, we can see the world as it really is, just for those few seconds before it settles down again. We see all the beauty, and cruelty, and sadness, and love. But mostly we are happy not to. Some people learn to lift the veil themselves. Then they don’t have to depend on the wind anymore.

She doesn’t mean that it’s a real veil. And it isn’t about magic, or some idea that maybe God is looking right at you, or an angel is sitting next to you, or anything like that. Mom doesn’t think in those ways. It’s just her way of saying that most of the time, people get distracted* by little stuff and ignore the big stuff.

(Rebecca Stead 「When You Reach Me」による)

* blurry……ぼやけた * distract……(人の気持ち・注意など)をそらす

1. 私とリチャードは、今までよりももっと熱心に練習に励んだが、母は、練習に気乗りがせず、部屋から出て行ってしまった。
2. 母によると、私たちはみな、自分と周りの世界をへだてるヴェールをかぶっていて、人によってはそのヴェールが見えるという。
3. 私たちは、目に見えないヴェールを顔にかけて、楽しく歩き回っており、世の中が少しはやけて見えるが、そのほうがいいと思っている。
4. 時々、ヴェールが風でめくれあがり、世の中の本当の姿を見ることができが、自分でヴェールをめくれるようになる人はいない。
5. 母は、魔法や天使の話が大好きなので、何か事あるごとに、神秘的な例え話を使って私に話をしてくる。

【No. 4】 ある鳥類園のすべての鳥について調べたところ、次のア～ウのことが分かった。

ア 動きがはやい鳥は、鳴き声大きい。

イ くちばしが長い鳥は、尾が短くない。

ウ 尾が短い鳥は、動きがはやい。

以上から判断して、確実にいえるのはどれか。

1. 動きがはやい鳥は、尾が短い。
2. 動きがはやくない鳥は、くちばしが長い。
3. くちばしが長くない鳥は、動きがはやい。
4. 尾が短くない鳥は、鳴き声大きくない。
5. 尾が短い鳥は、鳴き声大きい。

【No. 5】 各位の数字がそれぞれ異なり、各位の数字の和が18となる3桁の正の整数がある。この整数の一の位の数字と百の位の数字とを入れ替えると、入れ替える前の整数に比べて198小さくなる整数の個数として、正しいのはどれか。

1. 2個
2. 3個
3. 4個
4. 5個
5. 6個

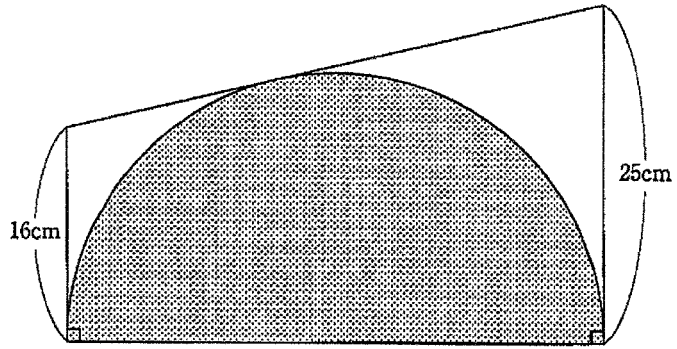
【No. 6】 父、母、姉、弟の4人家族のそれぞれの年齢について今年の元旦に調べたところ、次のA～Dのことが分かった。

- A 姉は弟より5歳年上であった。
- B 父の年齢は姉の年齢の3倍であった。
- C 3年前の元旦には、母の年齢は弟の年齢の5倍であった。
- D 3年後の元旦には、父と母の年齢の和は、姉と弟の年齢の和の3倍になる。

以上から判断して、5年前の元旦の4人の年齢の合計として、正しいのはどれか。

- 1. 108歳
- 2. 113歳
- 3. 118歳
- 4. 123歳
- 5. 128歳

【No. 7】 下図のように、台形に半円が内接している場合、半円の面積として、正しいのはどれか。



1. $200 \pi \text{ cm}^2$
2. $250 \pi \text{ cm}^2$
3. $300 \pi \text{ cm}^2$
4. $350 \pi \text{ cm}^2$
5. $400 \pi \text{ cm}^2$

【No. 8】 下図のように、ある規則に従って、同じ大きさの二等辺三角形のタイルを1列目から101列目まで隙間なく並べて大きな二等辺三角形を作るとき、タイルの枚数の合計として、正しいのはどれか。

1列目

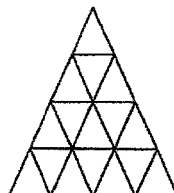
2列目

3列目

4列目

・

・



1. 9,889 枚
2. 9,988 枚
3. 10,201 枚
4. 10,302 枚
5. 10,404 枚

【No. 9】 国際法に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 自然法の立場から、国際社会にも諸国家が従わなければならない法があると最初に理論的に体系づけたオランダのグロティウスは、「国際法の父」といわれている。
2. 国家間の約束については、成文化が義務づけられており、国際法には、国際慣習法というものは存在しないとされている。
3. 国家間の紛争を解決するために設置された国際司法裁判所には、紛争に関する裁判について、両当事国の合意を得ることなく行う権限が付与されている。
4. 海域は公海とすべきであるとの考え方の世界的な広まりに伴い、沿岸国の領海は沖合3海里までに縮小され、沿岸国が優先的に海洋資源を利用できるとされた排他的経済水域は廃止されている。
5. 人権保障については、世界共通の指針となる世界人権宣言が国連総会で採択されたものの、各国を法的に拘束する国際人権規約は、国連総会において採択されないままとなっている。

【No. 10】 労働三法に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 労働基準法は、労働時間、休日、賃金などの労働条件の望ましい基準を明示し、使用者は、当該基準を満たすよう努力しなければならないが、当該基準に満たない労働条件による使用も有効とされ、罰せられることはないとしている。
2. 労働基準法は、使用者による不当労働行為を禁止し、使用者が不当労働行為を行った場合、労働者は、公共職業安定所に救済を申し立てることができるとしている。
3. 労働組合法は、労働組合が争議行為を行った場合、労働者は、正当な行為である限り刑罰を科されることはないが、使用者は、当該争議行為によって受けた損害について、労働組合に賠償請求できるとしている。
4. 労働組合法は、公務員又は公務員が主体となって組織する労働組合がする争議行為について、他の法律において禁止する旨の定めを設けることはできないと明記している。
5. 労働関係調整法は、労働組合法と相まって、労働関係の公正な調整を図り、労働争議を予防し、又は解決して、産業の平和を維持し、もって経済の興隆に寄与することを目的としている。